

新潟市子どもふれあいスクール事業概要図

現状

- 都市化の進展による子どもの安心安全な遊び場・居場所の減少
- 少子化, 核家族化による, 子どもの人間関係形成能力が不十分
- 家庭・地域の教育力の低下

国(文部科学省・厚生労働省)「新・放課後子ども総合プラン」
文部科学省「地域と学校の連携・協働体制構築事業」
(放課後子供教室)

新潟市教育ビジョン基本施策 9「地域と学校・社会教育施設が協働する教育の推進」

新潟市子どもふれあいスクール事業

子どもふれあいスクールのねらい

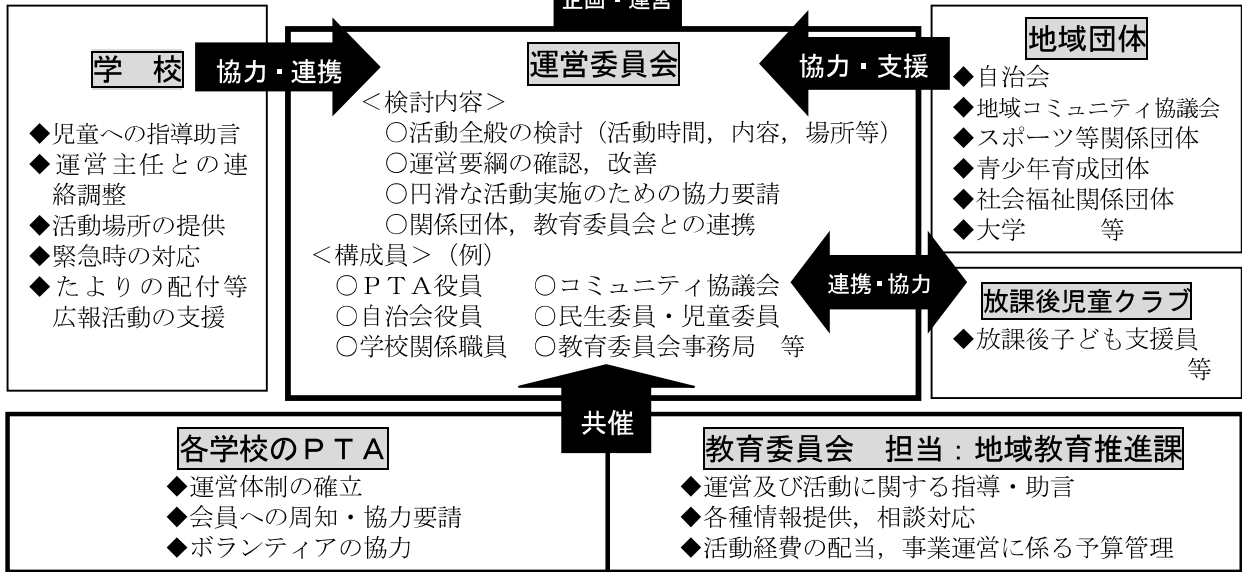
- 子どもの安心安全な居場所づくり
- 地域の大人と子どもとのふれあい・異年齢交流
- 地域・家庭の教育力の活性化

子どもふれあいスクール

～ 子ども(小学生1～6年)と地域住民との多様な活動 ～

- ア 身体活動(ボール運動, 卓球, 一輪車, 竹馬, 自由遊び等)
- イ 文化活動(読書, 囲碁, 将棋, 折り紙, かるた, オセロ, 物作り等)
- ウ 学習活動(宿題, 自主学習, 補充学習, 地域探検, ボランティア活動等)
- エ イベント活動(お泊まり会, 祭り, クリスマス会, 餅つき大会等)

企画・運営



項目	主な概要
活動日・活動時間	週1～3回程度【平日】放課後～16:45【土曜】9:00～11:45
活動場所	小学校の体育館, 余裕教室, グラウンド, 図書館等, 学校教育活動に支障のない場所
児童管理	ふれあいスクールの活動は, 子どもがパスポートを受付に提出し, 活動後パスポートを受け取るまでとなり, この間は地域教育推進課の管理下ではある。平日の場合, 活動参加後の下校時間は学校管理下になり, 土曜の場合の登下校の時間は地域教育推進課の管理下となる。
運営スタッフ(地域人材)	①運営主任 <企画・調整・運営・管理> ②運営ボランティア<運営主任の補助・遊び相手> ③事業ボランティア<遊び等の講師・指導者> 月2回程度
保険	運営主任 ・ ・ ・新潟市市民活動保険 ボランティア ・ ・ ・新潟市市民活動保険 児童, 保護者, 地域の方, 未就学児 ・ ・ ・団体総合保障制度費用保険 } 地域教育推進課が手続きを行う。